

## がん化学療法連携シート運用手順

2022 年 4 月 北信総合病院 薬剤部

対象患者:通院治療センターで治療を受ける患者

(連携充実加算 150 点/月⇔特定薬剤管理指導加算 2 100 点/月)

### 【病院:通院治療センター】

|        |                                        |
|--------|----------------------------------------|
| 情報提供文書 | 「有害事象発現状況」(通院治療センター看護師、1クール目 day1 は無し) |
|        | 「検査値データ」(外来、採血有の場合)                    |
|        | 「患者向け説明書」(薬剤師)                         |

上記情報提供文書を患者に渡し、かかりつけ薬局でも提示するように説明する

- \*薬剤師の指導は導入時、レジメン変更時、必要時。説明書での説明の他、必要に応じてお薬手帳にも情報を記載する。
- \*患者向け説明書の上部には何クール目の何日目かを記載する。
- \*患者向け説明書は各クールの day1 または経口抗がん剤の処方が発行される日に患者に渡す。  
1クール目 day1 以降は説明書の1枚目のみでもよい。
- \*院内処方の場合でも外来と同様の対応をする。

### 【かかりつけ薬局】

当日:情報提供文書を確認し、患者指導を行う。

- \*薬の過不足、投与量の確認等は調剤前に通常の疑義照会をする
- \*情報提供文書は、患者の希望があれば調剤薬局のルールに沿って廃棄してかまわない

フォローアップ:電話等により、服薬状況や副作用の状況等を確認し、必要な情報を「がん化学療法連携シート」で病院(薬剤部医薬品情報管理室)にFAXで提供する。

\*緊急を要する対応が必要な場合は主治医もしくは病院薬剤師へ直接連絡する(後刻、連携シートに記載しFAXする:算定条件)

- \*「がん化学療法連携シート」のテンプレートは当院ホームページ『薬剤部』→『地域薬剤師の皆さまへ』→『がん化学療法連携』からダウンロード可能

### 【病院薬剤師】

\*調剤薬局からFAXで提供された情報はカルテ記事(「薬剤部記事」→「院外からの情報提供(がん化学療法)」)に記載する。

\*副作用無しや服薬状況良好等、問題が無い場合は「院外からの情報提供(がん化学療法)」に記載のみする。

\*次回診察時に対応の検討が必要な場合には「院外からの情報提供(がん化学療法)」に情報提供内容を記載し、付箋\*を付けて主治医に確認を促す。

\*緊急を要する対応が必要な場合には主治医に直接連絡し、その対応について調剤薬局へ電話でフィードバックし、「院外からの情報提供(がん化学療法)」に記載する。(連携シートは後刻FAXされてくる)

\*全ての処理が終了した FAX されたがん化学療法連携シートは CDS として取り込む。

※付箋記載内容

かかりつけ薬局である〇〇薬局より化学療法施行後の状況に関する情報提供  
があります。薬剤部記事「院外からの情報提供(化学療法)」をご確認ください。  
▽▽年□□月××日

[がん化学療法連携シートの連絡先]

北信総合病院薬剤部医薬品情報管理室 FAX:0269-23-2792

TEL:0269-22-2151